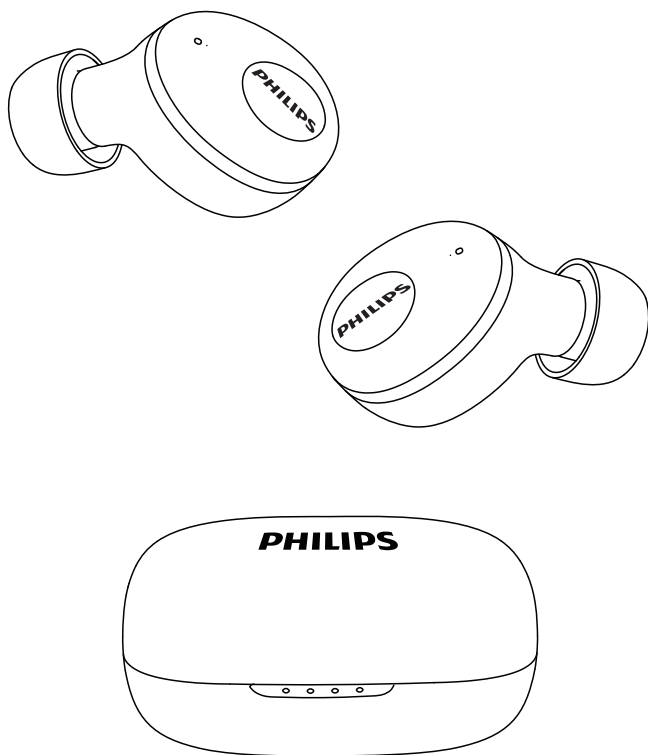


PHILIPS

インイヤー

1000シリーズ

TAUT102



取扱説明書

www.philips.com/supportに製品を登録して
サポートを受けてください

目次

1	安全上のご注意	2	7	注意	12
				法令順守宣言	12
2	Bluetoothワイヤレス・イヤープース	4		古い製品およびバッテリーを廃棄する	12
	同梱品	4		EMFの順守	12
	その他の機器	4		環境に関する情報	12
	Bluetoothワイヤレス・イヤープースの概要	5		法令順守の注意	12
3	始めましょう	6	8	登録商標	14
	バッテリーの充電	6		Bluetooth	14
	充電用ケースのバッテリー状態を示すLEDインジケーター	6		Siri	14
	初めてイヤープースをBluetooth対応機器とペアリングする	7		Google	14
	シングルイヤープースのペアリング（モノモード）	8	9	よくある質問	15
	イヤープースを別のBluetooth対応機器とペアリングする	8			
4	イヤープースを使う	8			
	Bluetooth対応機器にイヤープースを接続する	8			
	パワーオン/オフ	9			
	通話と音楽を操作する	9			
	LEDインジケーターの状態	9			
	イヤープースの状態を示す				
	バッテリーLEDインジケーター	10			
	装着方法	10			
5	イヤープースの工場出荷時設定へのリセット	10			
6	仕様	11			

I 安全上のご注意

本製品をご使用頂く前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害や事故を未然に防止するためのものですので、下記内容を必ずお守り下さい。

お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚡ 危険

- この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの」を示しています。

! 警告

- この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性があるもの」を示しています。

⚡ 危険

- イヤークリップを使用する場合は、必ず次のガイドラインに従ってください。**
 - 本機を使用するときは音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間使用すると聴力に悪い影響を与えることがあります。
 - はじめから音量を上げすぎない。
 - 肌に異常やかゆみを感じた場合は使用しない。
 - 使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する。
本製品を耳から外してください。
 - イヤークリップはしっかりと取り付ける。
イヤークリップが外れて、耳の中に残るとけがや病気の原因となることがあります。
- 道路交通法に従って安全に運転する。**
自動車、バイク、自転車を運転中に本機を使用しないでください。また、歩行中、交差点や踏切、駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。事故の原因になります。
- 本製品を湿気、ほこり、油煙の多い場所、暖房器具の近く、直射日光の当たる場所や車内など高温の場所で使用、保管、放置しない。**

! 警告

- 分解や改造をしない。**
火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- 本機を過度の熱に当てない。**
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。**
- 雨や雪、浴室や洗面所など湿気の多いところ、水滴や水しぶきがかかる場所で使用しない。**
本製品は防水仕様ではありません。
- 汗をかく状態で使用しない。**
- 本製品を水没させない。**
- ぬれた手で触れない。**
感電やけがの原因になります。
- 本機を布団や布などで覆わない。**
発熱や発火の原因になります。
- 本製品に水や異物を入れない。**
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
- アルコール、ベンジン、または研磨剤を含むいかなる洗浄剤も使用しないでください。**
掃除が必要な場合は柔らかい布を使用し、必要な場合は最低限の量の水または薄めたマイルドな石けんで湿らせて本製品を掃除します。
- 航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従う。**
電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。**
- 電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。**
- 病院など使用を禁止された場所で使用しない。**
医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
- 本機を医療機器の近くで使用しない。**
機器が発する電波により心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。**
- 誤って飲み込まないように、幼児やペットが触れる場所に置かない。**
本機にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながるおそれがあります。飲み込んでしまった場合は、速やかに医師の診断を受けてください。本機を使用していないときは、充電ケースに入れて蓋を閉め、幼児の手の届かないところやペットが触れない場所に保管してください。
- メーカー純正品または推奨品ではない電源アダプターや充電器を使用すると、火災や怪我などの原因となるおそれがあります。**

- **破損した状態で使用したり、改造したりしない。**
破損した状態のバッテリーや改造したバッテリーを使用すると、火災や破裂の原因となり、怪我をするおそれがあります。
修理が必要な際は、必ず当社カスタマーサービスにお問い合わせください。
- **電池の液が漏れたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざける。**
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気づいたら使用しない。**
異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- **一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない。**
- **操作中および保管時の温度と湿度。**
温度が0°C (32°F) から60°C (140°F)（最大90%の相対湿度）の場所で操作、または保管してください。高温または低温状況ではバッテリー寿命が短くなることがあります。

充電電池について本製品はリチウムイオン電池を使用しています。

危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない。**
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に違和感がある場合は、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
- **火気に近づけたり、火の中に入れない。**
- **以下の場所で使用、放置、保管しない。**
 - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、また、極端に温度が低いところ。
 - ストープなどの熱源の近く。
 - 炎天下の車内。
- **本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。**
- **水にぬらさない。**

電波について

2.4 FH 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、と干渉距離は10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

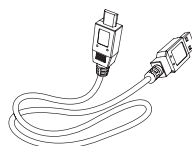
1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

2 Bluetoothワイヤレス・イヤークリップス

ご購入ありがとうございます。そして、Philipsによろこそ！Philipsが提供するサポートのメリットを最大限に受けるには、本製品をwww.philips.com/welcomeに登録してください。

このPhilipsのワイヤレス・イヤークリップスでは、次のことができます：

- 便利なワイヤレスのハンズフリー通話を楽しむ。
- ワイヤレスで音楽を楽しみ、コントロールする。
- 通話と音楽を切り替える。



USB充電ケーブル（充電用のみ）



クイック・スタート・ガイド

その他の機器

Bluetoothに対応しているスマートフォン、ノートパソコン、PDA、Bluetoothアダプター、MP3プレーヤーと互換性があります（10ページの「仕様」をご覧ください）。

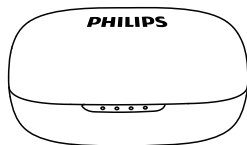
同梱品



トゥルーワイヤレス・インイヤークリップス
ホンPhilips UT102

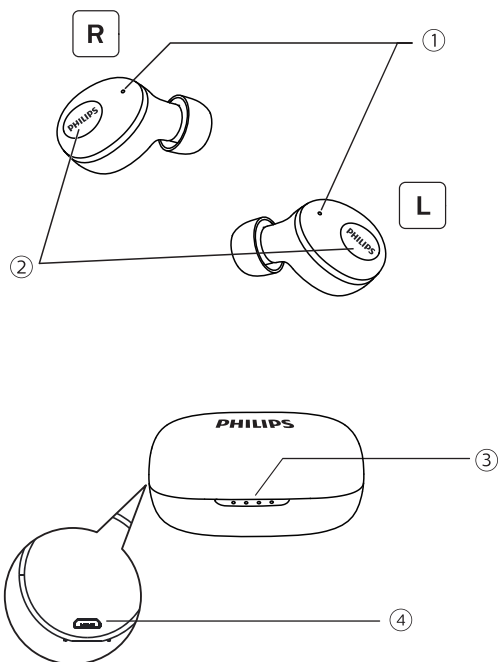


イヤークリップx2ペア



充電用ケース

Bluetoothワイヤレス・イヤ ーピースの概要



- ① マイクホンおよびLEDインジケータ
ー（イヤホン）
- ② マルチファンクション・ボタン
- ③ LEDインジケータ（充電用ケース）
- ④ マイクロUSB充電スロット

3 始めましょう

バッテリーの充電

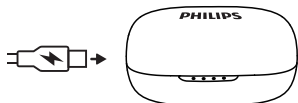
注

- 初めてイヤーピースを使用する前に、充電用ケース内にイヤーピースをセットします。最高のバッテリー容量と寿命にするために、2時間バッテリーを充電します。
- 何らかの損傷を避けるため、オリジナルのUSB充電ケーブルのみを使用してください。
- 充電するためにイヤーピースを接続するとイヤーピースの電源が切れるので、充電する前に通話を終えてください。

充電用ケース

USBケーブルの一端を充電用ケースに接続し、もう一方の端を電源に接続します。

- ➡ 充電用ケースが充電を開始します。
- 充電状況は前面パネルの青色LEDライトでも確認できます。
- 充電用ケースがフル充電されると、青色ライトが点灯します。



* ヒント

- 充電用ケースはイヤーピース充電用のポータブル・バックアップ・バッテリーとして機能します。

充電用ケースのバッテリー状態を示すLEDインジケーター

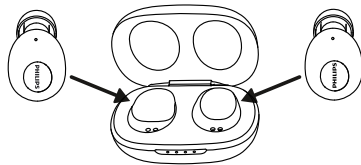
イヤーピースの充電中は、青色LEDが点灯します。

- バッテリーが75-100%の間、4個目の青色LEDライトが1秒おきに1回点滅し、他のライトは点灯したままです。
- バッテリーが50-75%の間は、1個目と2個目の青色LEDライトが点灯したまま、3個目と4個目のライトが引き続き点灯し、1秒おきに1回点滅します。
- バッテリーが25-50%の間は、1個目の青色LEDライトが点灯したまま、2個目、3個目、4個目のライトが引き続き点灯し、1秒おきに1回点滅します。
- バッテリーが0-25%の間、4個全ての青色LEDが1秒おきに点滅します。

イヤーピース

充電用ケース内にイヤーピースをセットします。

- ➡ イヤーピースの充電が開始されます。
- 充電のプロセスはイヤーピースの白色LEDライトでも確認できます。
- イヤーピースがフル充電されると、白色ライトが消灯します。

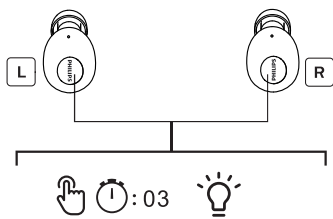


* ヒント

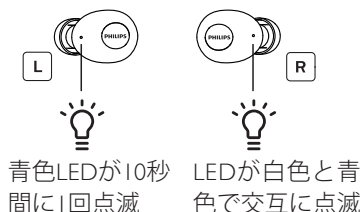
- 通常、フル充電には2時間かかります（イヤーピースまたは充電用ケースを充電する場合）。

初めてイヤピースをBluetooth対応機器とペアリングする

- 1 イヤピースがフル充電されていることをご確認ください。
- 2 自動電源オン：充電用ケースを開けます。イヤピースを放電させると、青色LEDインジケーターが「power on」（電源オン）のボイスプロンプトと共に3回点滅します。
手動で電源オン：左右のイヤピースでマルチファンクション・ボタンを約3秒間長押しします。



- ➡ 右のイヤホンのLEDが白色と青色で交互に点滅し、左のイヤホンのLEDが10秒間消灯し、青色LEDが1回点滅します。
- ➡ 左右のイヤピースの電源がオンになると、お互いをペアリングします。
- ➡ イヤピースは現在ペアリングモードで、Bluetooth対応機器（例えば、スマートフォン）とペアリングする準備ができています。



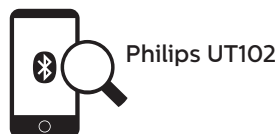
- 3 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 4 イヤピースをお持ちのBluetooth対応機器とペアリングします。お持ちのBluetooth対応機器の取扱説明書をご参照ください。
➡ 右のイヤピースで、「Connected」（接続済み）という声が聞こえ、左右のイヤピースのLEDが消灯し、10秒おきに1回点滅します。お持ちの機器を使用して、音楽の再生または通話が可能です。

注

- 電源を入れた後、イヤピースが以前に接続されたBluetooth対応機器を見つけることができない場合、自動的にペアリングモードに切り替わります。

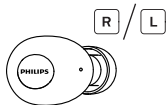
以下の例は、Bluetooth対応機器とイヤピースをペアリングする方法を示しています。

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips UT102**を選択します。
- 2 指示された場合は、イヤピースのパスワード「0000」（ゼロ4個）を入力します。これらのBluetooth対応機器がBluetooth 3.0以降に対応している場合、パスワードを入力する必要はありません。



シングルイヤークラスのペアリング (モノモード)

- 1 右のイヤークラス (マスター機器) を充電用ケースから取り出すと、イヤークラスの電源が自動的に入ります。右のイヤークラスから「Power on」(電源オン) の声が聞こえます。



- 2 お持ちの機器のBluetooth機能をオンにし、検索して「Philips UT102」をタップし、接続します。(6ページを参照してください)



Philips UT102

- 3 いったんペアリングに成功すると、「Connected」(接続済み) という声が聞こえ、インジケータのライトが消灯します。

イヤークラスを別のBluetooth対応機器とペアリングする

イヤークラスとペアリングしたい別のBluetooth対応機器をお持ちの場合、すでにペアリングした、または接続された機器のBluetooth機能がオフになっていることをご確認ください。次に、「初めてイヤークラスをBluetooth対応機器とペアリングする」の順に従ってください。

注

- イヤークラスは、メモリーに1台の機器を保存できます。2台以上の機器をペアリングしようとする、1番最初にペアリングされた機器が新しい機器に置き換えられます。

4 イヤークラスを使う

Bluetooth対応機器にイヤークラスを接続する

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 2 左右のイヤークラスを充電用ケースから取り出すと、イヤークラスの電源が入り、自動的に再接続されます。
 - ↳ どの機器にも接続されない場合、5分後にイヤークラスの電源が自動的に切れます。
 - ↳ 左右のイヤークラスの電源がオンになると、お互いを自動的にペアリングします。
 - ↳ イヤークラスは最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、その機器と自動的に再接続します。最後に接続した機器が使用可能でない場合、イヤークラスは最後から2番目に接続した機器を検索し、再接続します。

※ ヒント

- イヤークラスを同時に2台以上の機器に接続することはできません。2台のペアリングされたBluetooth対応機器をお持ちの場合、接続したい機器のBluetooth機能だけをオンにしてください。
- イヤークラスをオンにした後、Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにする場合、機器のBluetoothメニューにアクセスして、イヤークラスを機器に手動で接続する必要があります。

≡ 注

- イヤークラスが5分以内にどのBluetooth対応機器とも接続できない場合、バッテリー寿命を節約するため、自動的に電源が切れます。
- Bluetooth対応機器の中には、自動的に接続されないものもあります。この場合は、お持ちの機器のBluetoothメニューにアクセスして、イヤークラスを手動でBluetooth対応機器に接続する必要があります。

パワーオン/オフ

タスク	マルチファンクション・ボタン	操作
イヤーピースの電源をオンにします。	左右のイヤーピース	左右のイヤーピースを充電用ケースから取り出し、3秒間長押しします。
イヤーピースの電源をオフにします。		充電用ケース内に左右のイヤーピースをセットします。
	右/左のイヤーピース	5秒間長押しします。

通話と音楽を操作する

ミュージック・コントロール

タスク	マルチファンクション・ボタン	操作
音楽の再生または一時停止	右/左のイヤーピース	1回押す
先へスキップ	左のイヤーピース	2秒間長押しする
前へスキップ	右のイヤーピース	2秒間長押しする

通話のコントロール

タスク	マルチファンクション・ボタン	操作
電話に出る/電話を切る	右/左のイヤーピース	1回押す
応答を拒否する	右/左のイヤーピース	1秒間長押しする

ボイスコントロール

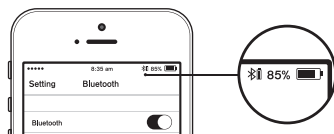
タスク	マルチファンクション・ボタン	操作
Siri/Google	右/左のイヤーピース	2回押します

LEDインジケータースタtus

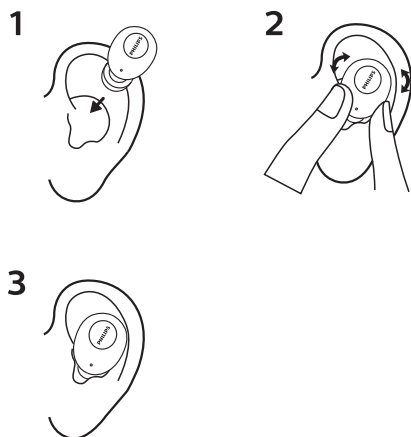
イヤーピースのステtus	インジケータースタtus
イヤーピースがBluetooth対応機器に接続されている。	白色LEDライトが消灯し、青色のライトが10秒おきに1回点滅します。
イヤーピースの電源がオンである。	白色LEDが3回点滅します。
イヤーピースがペアリングモードである。	青色と白色LEDが点滅します。
イヤーピースはオンだが、Bluetooth対応機器に接続されていない。	青色と白色LEDが点滅します。接続ができない場合、5分以内にイヤーピースの電源が切れます。
バッテリー残量が少ない（イヤーピース）。	イヤーピースから「Battery low」（バッテリー残量が少ない）と聞こえます。白色のLEDが2回点滅します。
バッテリー残量が少ない（充電用ケース）。	1個目の青色LEDのみが点灯し続けます。
バッテリーがフル充電されている（イヤーピース）。	イヤーピースの白色LEDが消灯します。
バッテリーがフル充電されている（充電用ケース）。	充電用ケースの4個の青色LEDが点灯します。

イヤーピースの状態を示す バッテリーLEDインジケーター

イヤーピース接続後Bluetooth対応機器のバッテリーインジケーターを表示します。



装着方法



5 イヤーピース の工場出荷時 設定へのリセ ット

ペアリングまたは接続に問題が生じた場合は、以下の手順に従ってイヤーピースを工場出荷時設定へリセットすることができます。

- 1 お持ちのBluetooth対応機器で、Bluetoothメニューにアクセスして、機器リストから**Philips UT102**を削除します。
- 2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオフにします。
- 3 左右のイヤーピースを充電用ケースに戻します。左右のイヤーピースの白色LEDが点滅します。イヤーピースの白色LEDが2回点滅するまで、左右のイヤーピースのファンクション・ボタンを4秒間長押ししてください。
- 4 イヤーピースとBluetooth対応機器をペアリングするには、お持ちのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips UT102**を選択します。

6 仕様

イヤープース

- 音楽再生時間：3時間（充電用ケースを使用すると9時間プラス）
- 通話時間：2.5時間（充電用ケースを使用すると7.5時間プラス）
- スタンバイ時間：50時間
- 充電時間：2時間
- 再充電可能リチウムイオン・バッテリー：イヤープース1個につき40mAh
- Bluetoothバージョン：5.0
- Bluetooth対応プロファイル：
 - HSP（ハンズフリー・プロファイル-HFP）
 - A2DP（アドバンスド・オーディオ・ディストリビューション・プロファイル）
 - AVRCP（オーディオ/ビデオリモートコントロール・プロファイル）
- 対応するオーディオ・コーデック：SBC
- 周波数帯域：2.402～2.480GHz
- トランスミッター出力：4dBm未満
- 操作可能範囲：最大10m(33フィート)

充電用ケース

- 充電時間：2時間
- 再充電可能リチウムイオン・バッテリー：320mAh



注

- 仕様は予告なしに変更されることがあります。

7 注意

法令順守宣言

これにより、飛生(香港)控股有限公司(MMD Hong Kong Holding Limited)はこの製品が指令2014/53/EUの必須条件および他の関連条項を順守していることを宣言します。www.p4c.philips.comで法令順守宣言を確認することができます。

古い製品およびバッテリーを廃棄する



お持ちの製品は高品質材料と部品で設計・製造されており、リサイクルや再利用が可能です。



製品のこの記号は、本製品が欧州指令2012/19/EUの対象として含まれることを意味しています。



この記号は、本製品が通常の家計ゴミと共に廃棄できない、欧州指令2013/56/EUの対象として含まれる内蔵再充電可能バッテリーを含んでいることを意味しています。正式な回収場所、または専門家が再充電可能バッテリーを取り外してくれる、Philipsサービスセンターに製品を持って行くことを強くお勧めします。

電気、および電子製品と再充電可能バッテリー用の、地元の分別ゴミ収集システムについて確認してください。地元の規則に従い、絶対に本製品と再充電可能バッテリー

を通常の家計ゴミと共に廃棄しないでください。古い製品と再充電可能バッテリーの正しい廃棄は環境と人体の健康への悪影響を防ぐのに役立ちます。

EMFの順守

この製品は電磁場への被曝に関して、全ての該当する基準と規制に従っています。

環境に関する情報

不要な包装は全て省かれています。3種類の材料を分別できるように、できるだけ包装を簡単にしました。段ボール(箱)、ポリスチレン発泡体(緩衝材)、ポリエチレン(袋、保護発泡シート)。お持ちのシステムは、専門企業によって分解された場合に、リサイクルおよびリユースできる材料でできています。包装材料、消耗したバッテリー、古い製品の廃棄に関しては、地元の規制を順守してください。

法令順守の注意

機器はFCCルール、パート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします：

1. この機器は有害な干渉の原因とはなりません。そして
2. この機器は、望まない操作の原因となる可能性がある干渉を含む、受信されたいかなる干渉にも対応する必要がありません。

FCCルール

この装置はFCCルールのパート15に基づいて、クラスBデジタル機器のリミットに適合するように試験され、確認されています。このリミットは、住宅での設置に

において有害な干渉から適切に保護するために設定されています。この装置を製造し、使用すると無線周波数エネルギーを放出する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。

しかし、特殊な設置状況においては、干渉が生じないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす（機器の電源をつけたり消したりすれば確認できます）場合、以下の1つまたは2つ以上の方法により、ユーザーが干渉の排除を試行することを推奨します。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 装置とレシーバー間の距離を空ける。
- レシーバーが接続されている回路とは異なる回路上のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

FCCの放射線被曝についての表明：

この装置は、制御されていない環境において規定されたFCCの被曝限度に準拠しています。

このトランスミッターは、いかなる他のアンテナまたはトランスミッターとも一緒に設置または操作してはいけません。

警告：決まりを順守させる責任のある当事者に明確に認められていない改変や改造を行うと、この装置の操作権限が無効になることに注意してください。

カナダ：

この機器は、カナダのイノベーション・科学経済開発省のライセンス免除のRSSに適合したライセンス免除のトランスミッター/レシーバーを内蔵しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします：
(1)この機器は干渉の原因にはなりません。

(2)この機器は、望まない操作の原因となることがある干渉を含む、いかなる干渉にも対応する必要があります。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ICの放射線被曝についての表明：

この装置は、制御されていない環境において規定されたカナダの放射線被曝限度に準拠しています。

このトランスミッターは、いかなる他のアンテナまたはトランスミッターとも一緒に設置または操作してはいけません。

8 登録商標

Bluetooth

Bluetooth®のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、飛生(香港)控股有限公司 (MMD Hong Kong Holding Limited) によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標および商標名は各所有者に属します。

Siri

SiriはApple Inc.の商標で、米国その他の国で登録されています。

Google

GoogleはGoogle LLC.の商標です。
Google Assistantは一部の言語および国ではご利用いただけません。

9 よくある質問

Bluetoothイヤークーピーズの電源が入りません。

バッテリー残量が少なくなっています。イヤークーピーズを充電してください。

BluetoothイヤークーピーズとBluetooth対応機器をペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にして、イヤークーピーズの電源を入れる前にBluetooth対応機器の電源を入れてください。

ペアリングがうまくいきません。

- 左右のイヤークーピーズを充電用ケースにセットします。
- すでに接続されたBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- お持ちのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips UT102」を削除します。
- イヤークーピーズをペアリングします（6ページの「初めてイヤークーピーズをBluetooth対応機器とペアリングする」をご覧ください）。

ペアリングをリセットする方法。

左右のイヤークーピーズを充電用ケースに戻します。左右のイヤークーピーズの白色LEDが点滅します。イヤークーピーズの白色LEDが2回点滅するまで、左右のイヤークーピーズのファンクション・ボタンを4秒間長押ししてください。

Bluetooth対応機器でイヤークーピーズが見つかりません。

- イヤークーピーズがすでにペアリングした機器と接続されている可能性があります。接続されている機器の電源を切り、電波の届かない場所に移動させてください。
- ペアリングがリセットされている、またはイヤークーピーズがすでに別の機器とペアリングされている可能性があります。取扱説明書に記載されている通りにイヤークーピーズとBluetooth対応機器を再度ペアリングしてください。（6ページの「初めてイヤークーピーズをBluetooth対応機器とペアリングする」をご覧ください）。

BluetoothイヤークーピーズはBluetoothステレオ対応スマートフォンに接続されていますが、スマートフォンのスピーカーからしか音楽が再生されません。

お持ちのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。イヤークーピーズを通して音楽が聴けるように選択してください。

オーディオ品質が貧弱で、バリバリというノイズが聞こえます。

- Bluetooth対応機器が、電波の届かない場所にあります。イヤークーピーズとBluetooth対応機器の距離を縮めるか、間に何も置かないようにしてください。
- イヤークーピーズを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い時に、オーディオ品質が貧弱になります。または、オーディオ・ストリーミングが全く機能しません。

お持ちのスマートフォンが（モノ）HSP/HFPだけでなく、A2DPにも対応しており、BT4.0x（またはそれ以降のバージョン）に対応している（10ページの「技術仕様」をご覧ください）ことを確認してください。

Bluetooth対応機器で音楽を聴くことはできますが、音楽のコントロールができません（例再生/一時停止/スキップ/進む/戻る）。

BluetoothオーディオソースがAVRCP(10ページの「仕様」をご覧ください)に対応していることを確認してください。

イヤーピースの音量が小さすぎます。

Bluetooth対応機器の中には、音量の同期でイヤーピースとの音量のリンクができないものもあります。この場合、適切な音量にするため、Bluetooth対応機器単独で音量を調整する必要があります。

イヤーピースを別の機器に接続できません。どうすれば良いですか？

- すでにペアリングした機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認してください。
- 接続する別の機器でペアリング手順を繰り返します（6ページの「初めてイヤーピースをBluetooth対応機器とペアリングする」をご覧ください）。

イヤーピースの片方からしかサウンドが聞こえません。

- 通話中の場合、通常は左右のイヤーピースから音が聞こえます。
- 音楽を聴いているが、片方のイヤーピースからしかサウンドが聞こえない場合。
 - もう片方のイヤーピースのバッテリーが切れている可能性があります。最高のパフォーマンスのために、左右のイヤーピースをフル充電してください。

- まず、左右のイヤーピースをそれぞれ接続解除して、両方のイヤーピースの電源をオフにします。次に、左右のイヤーピースを5秒間充電用ケースに戻してから取り出します。この手順により、左右のイヤーピースの電源が入り、両方のイヤーピースが接続されます。イヤーピースをお持ちのBluetooth対応機器と再接続します。
- イヤーピースが2台以上のBluetooth対応機器に接続されています。全ての接続された機器のBluetooth機能をオフにします。左右のイヤーピースの電源をオフにします。左右のイヤーピースを5秒間充電用ケースに戻してから取り出します。イヤーピースをお持ちのBluetooth対応機器と再接続します。このイヤーピースは、一度に1台のBluetooth対応機器だけに接続するように設計されているので、ご注意ください。お持ちのBluetooth対応機器にイヤーピースを再接続する場合、他のすでにペアリングした/接続された機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認してください。
- 上記の方法にて解決しない場合は、イヤーピースを工場出荷時設定にリセットしてください（9ページの「イヤーピースの工場出荷時設定へのリセット」をご覧ください）。

サポートについては、
www.philips.com/supportにアクセスしてください。



PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、その許可を得て使用しています。この製品は飛生(香港)控股有限公司(MMD Hong Kong Holding Limited)またはその系列会社の一つによって製造・販売されており、飛生(香港)控股有限公司(MMD Hong Kong Holding Limited)はこの製品に関する保証人です。

UM_TAUT102_00_EN_V1.0

